

活動紹介

活動内容：フクロウ保護プロジェクト

3つの活動の柱

保護：鈴鹿山脈山麓を中心に巣箱掛けによる子育て支援を行っています。行政や企業、地元自治体、森林組合等と連携して、現在、四日市市、菰野町、いなべ市、津市など4市町に40箱余りのフクロウ用巣箱を設置しています。

研究：繁殖時の生態研究や繁殖後の巣箱に残された小動物の骨などを分析し、繁殖時の給餌特性の解明に取り組んでいます。研究成果は学会や各種の研究発表大会で発表しています。

教育：フクロウは森林や里山における食物連鎖の頂点に立つ種です。フクロウを守ることはその自然環境全体を守ることを意味します。多くの人にフクロウの魅力を伝え、活動の輪が広がることを目指します。



代表者の環境や活動に関する思い

フクロウは人里近くの森林で人知れず暮らしています。四日市市でも大きな森林のある公園や里山環境が残された地域では今も生息しています。夜行性のためにその姿を見ることはほとんどありませんが、春先に、耳を澄ませばフクロウのさえずりを聞くことができます。私たちの学校にもフクロウが訪れます。思っている以上に身近な自然にいます。このフクロウやフクロウが棲む環境がいつまでも失われないことを願っています。

